



リステラス星圏史略  
古資料ファイル  
6-0



《麗天地》  
(リスタルラーナ前史)

(発掘作業宙)

霧樹里守 is 土岐真扉

[『《麗天地》年代記。』 \(シリーズ\)](#)

2006年5月13日 [連載](#)

♪ リ・いす・すたる・あある・らあな.....♪

♪ (我ら在る) (星群) (大地) (秀麗な) ♪

.....古典雅語にて「我らの麗しの天地よ」と譚詩に謳われた(※)ことから、後々の世に惑星ならびに世界の名前が《リスタルラーナ》になりました.....という由来の、地球とは別の惑星で進化した文明が、惑星外に進出して星圏国家を築き、すったもんだの末に文化が繁栄して爛熟して退嬰して、自然出産率が限りなくゼロに近づいて、おっとこのままじゃリスタルラーノは絶滅しちゃうよ困ったね★という時代に、血気盛んな若々しい(稚気に溢れた)地球圏文明の存在を発見しちゃって万々歳、この若さと元気を年老いた我々にも分けて貰おーね♪ .....と、何も考えずに(というわけでもなかったのだが、とにかくかなりの拙速で)外交使節船を派遣して、あわや「黒船来襲!!」とパニックした地球圏から攻撃されかけちゃったんだよ.....(^;)>”.....という、年代記の物語。(長い!!)

(※謳った作詞者の(超絶美形の)おに一さんにも、当然、主役級で出番がありますとも♪)

大雑把に言うと、先史文明の遺跡を破壊する形で激しく墜落した《星の船》からもそもそと湧いて出て来た《新しい人々(複数)》の子々孫々が、高原地帯で究極のスローライフしていた外見オランウータン似で共存共感能力《ニ・ワンサ》.....テレパシーみたいなもの.....を持っている《元からいた人(単数)》と一部で交流しながらも、惑星全域に広がるひび割れたセラミック状の大地(島々)と、その境を仕切る《川》(運河)群に隔てられて、拡散と移住を繰り返すうちにどんどん文化(生活慣習)が離れて行って.....という《退化時代》のあと。

貴族と平民と農村(荘園)と王宮(都市)とが分離しつつ並存する時代と、それなりの戦乱と思想的発展を経て、惑星地表上の居住可能圏の大半が、ゆるやかな帝政のもとで平和裡に統合されて、ほぼ順調に発展、していた頃に。

帝国政府の補助金(税金)を使って先史文明遺跡の発掘作業に邁進していた歴史ミステリーおたくでマッドサイエンティストな連中が、半壊状態で土中に埋もれていた《星から来た船》を発

見しちゃって、よせばいいのに嬉々として中に入り込んでしまったら、まだ生きていた船のコンピュータから何かよくわからんコトバ（超古語）で話しかけられて、ウカツにも何にも考えずにとりあえず「YES」のボタンをぽちっとな。と押しちゃって.....。(^◇^;)..... 《星の船》所蔵の《居住不能惑星環境改造改善万能機》を、設定値ゼロのままドカッと作動させてしまっ.....  
★ (>\_<) .....という『大破壊』。

そこからかろうじて復活復興した新文明は、そのトラウマから、異様なほどに「記録」や「過去」や「歴史」というものを恐怖し嫌悪して、古いものはとにかくどんどん捨て去る、新しいものこそが安全で美しく素晴らしい.....、という、かなり偏ったクセがついちゃいました☆

みたいな.....。

超絶「使い捨て文明」の新生リスタラーナは、豪儀なことに、居住可能惑星まで、どんどん「使い捨て」にしています。ガツッと《惑星改造機》で入植可能な星にして、その時代の最新技術でドカンと都市群をぶっ立てて、お金のあるもん勝ちでどんどん新しい星に移住して、設備が時代遅れになってきたら、補修とか改装とかは一切考えずに、近隣の適当なGの星を改造して、またどんどん移り住んでいきます.....。

で、適当なGの星が無くなったら、以前「使っていた」星を、まだそこに住んでいるビンボー人達の居住権なんかハナから無視（一応、着の身着のまま「救出」だけはしますが、その「救出費用」を、難民の皆さんの自己負担として請求してみたり.....☆）して、がつつと改造して新都市建設して、お金持ちに高く売りつけて.....。

の、永遠開発。

新しいもの、新しいもの、新しいもの.....。

と、どんどん求め続けて行って、立ち止まったり、後ろを振り返ったりするのは「ばかげた」ことで。

という文明が.....。「新しく開発する（あるいは開発しなおす）惑星資源」を求めて、戦闘状態になったり、軍拡競争で息切れしたり.....。

しているうちに、「過労」（？）になって、子どもを生んで育てて「生活する」喜び.....というものが、感じられなく、なっちゃったんですねえ.....★★

.....と、いうハナシ.....??

今の時点でこー書いてると、「なんか、聞いたような寓話？だねえ……」と苦笑したくなりますが……。

(^◇^;)d”

私がこのネタ、考えた（というか、頭の中に湧いて出た）のって……。

今を去ること25年ぐらい、前だぞ？ その頃、私、中学生だったんだけどねえ……？？？

(^\_^;)d??

## 過去有（かこう）の大陸

...過去視、転生、オカルト、空想...

全てを兼ねた設定ノート ♪

1988.02.29.

《 過去有（かこう）の大陸 》 （1988.02.29.）

---

[《 過去有（かこう）の大陸 》 （1988.02.29.）](#)

2017年2月23日 [リステラス星圏史略 （創作）](#)

<https://www.youtube.com/watch?v=P8AZT3wKQVs>

Luar na Lubre - O Son Do Ar

1988.02.29.

過去有（かこう）の大陸

...過去視、転生、オカルト、空想...

全てを兼ねた設定ノート ♪

カコウ（過去有）。 カ・クオウ。

オウ、の音は すなわち 聖なるものの 意味である。

それは、

アウ もしくは アイ の音... 愛しいもの、よりも

さらなる尊貴のひびき。

かつて。幾重にもかさなった転生のもつれの糸の、

はりめぐらされた時間と空間との はざま（世界）。

いま（現世）へと流れこみ、そしてまた

ここ（現在）より出ずる 無限の大海の、

ロクシャ（録者）、ミコシヨク（巫女職）、

あるいは ケンサクウシュ（剣策士）。

オウ（王）という言葉も クニ（国）もまた、

すべては ユメミ（夢視）しばしき 猿族の少女の 視し夢。

カコウ（過去有）。

ひとは その、かつて視しうつつ（現）に惑い、誘われ、

はるかなる 生の数珠へと 導かれては いかん。

球形の、

魂 ゆえに。

由芽実

由芽（ユメ）

<https://www.youtube.com/watch?v=2F9GJEhOEKA>

Luar Na Lubre - Tu gitana (Ao Vivo)



過去有（カコウ）の大陸 ...その客人は共鳴圏の外から来た。 （1987.12.～）

---

その客人は共鳴圏の外から来た。

巫女職と生殖との一致。

"血"の交わり。

だから"王"と、ひとは呼んだのだ。

ク・オウ・タル・オウ。

...それらはすべて古しえの

貴いものたちの名であった。

トゥ・オミ。

T u . O U M I . D e r u . M a .

過去有（カコウ）の大陸

録者、巫女職、剣策士。

1987.12.19

永く永くと 続けよこの祭、

末良く栄えよ。

1987.12.21.

記憶が混とんとしている。

あるいは、それが常態であったのかも知れない。

我々はいつだってひとつの共鳴作用のなかに居たのであるから。

カーサ、

イーラ、

ティーピ、

かーだす ~~たぐ~~ うぐねいす

ビルマのたてごとで坊さんが着ていた衣のような、それより少し赤味の強い色。

とう・まうる。

トゥ・めある。

おんさーあ = おかあさん。

祭祀（サキ）。さいき。=職名。技術者名。

（参照したければ資料）

↓

<http://85358.diarynote.jp/201702231812088004/>

[...まずは断片的な（もはや意味不明の）メモ類...。（^^;）](#)

# 『 種の船 』

---

(新規原稿 (投稿用) めも) 「種の船」

2017年4月7日 リステラス星圏史略 (創作)

あるとき種の船が天から降り大地に突き刺さった。

種の船は鍛えたばかりの鍬のように真っ赤に燃えていた。

(ようするに 過去有の大陸が 定着したのよね?)

---

ようするに 過去有の大陸が 定着したのよね?

☆ 二大 大陸の区分は?

- ・ ナールとイシールの分化が進んだ国
- ・ ナールとイシールの混血・同化が進んだ国

2つの歴史大系を把握しないと困る。

☆ フェアサ (漂着民) とエルナ (先住民) の関係は?

惑星スタルアルラーナ

- = ウァ・エムバ (大陸)
- + ラクシャ・インストラ (多島大海) (淡水)

多島大海にはその昔、翼人 (神人) 伝説がある。イシール・ナール混在。交通・文化は分断されていて、文化圏が多様。

大陸は、星船落下の地より発展し、原住種族 (エランまたはエヴァン) (←ユヴァの猿族?) とのやりとりをくり返しながら、遺伝子 (家系) 重視型の文化圏 (ングサ・インスカ) の版図を広げてゆく。

(イノウエ剣策士なんかもここに入るのか?)

《スタル・アルラーナ》舞台設定として。 (1989.03.14.)

---

[《スタル・アルラーナ》舞台設定として。 \(1989.03.14.\)](#)

2017年2月24日 [リステラス星圏史略 \(創作\)](#)

スタル・アルラーナ ("美しの天地")。舞台設定として。

『ファアリスティラーヤ』 (聖霊の贈り物) 号の漂着先の惑星。

着陸時の事故により、ひとは二大大陸に分かれる。

以後、互いを伝説としつつ、細い交流が偶発的に保たれる。

文化・文明の発展度合はまったく別。

現在わかっている主要な要素としては、

◎ ラクシャ・インストラ (大陸 多島大海)

- ・有性種族 "ナール" ... (クナール：男性体。ミナール：女性体)。  
短命。繁殖能力が強い。  
色素がやや濃い。←原住種側の特徴。
- ・単性 (両性) "イシール" ... 比較的長命。生殖行為は生涯一度。  
←(アルビノ (白子) に近い)。

◎ 大陸ウァ・エムバ

- ・ングサ・インスカ (帝国) ... ゆるやかな身分制 + 学舎による官人政治。  
(皇帝親政)

・ 辺境諸族...? 惑星原住民を含む。（一般系エウァ。集団形エラン）。

及び

◎ 『ナシルの谷』 ...エラン・ナシル（人間の一派）によって始められた理想郷模索プロジェクト。アリンシエラン皇家により庇護され、後、まったくの民間（？）自治体となる。

リ・スタル・アルラーナ（美しき我らの天地）の語源は、ここより生まれた。

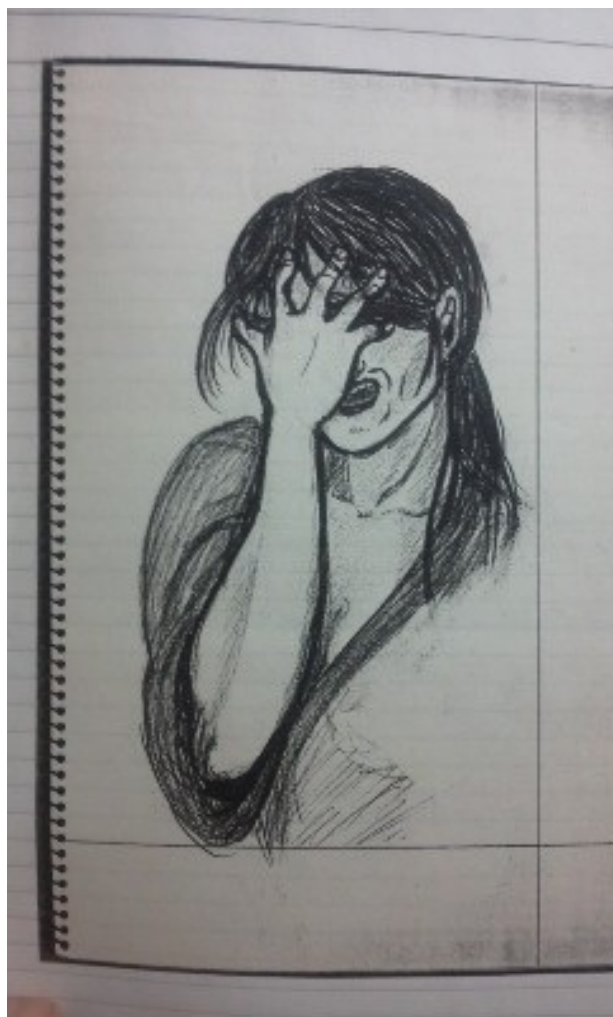
( 失 楽 園 )

～ 拡散と変貌 ～

(仮題)

(慟哭)

---





『ナシルの谷 史略』。

---

[『ナシルの谷 史略』。](#)

2017年2月24日 [リステラス星圏史略](#) (創作)

"The Land before Heavens"

『シという病』

『ナシルの谷へ』

『風の丘 ...The Windom Hills... 』

そこは、子供たちの家と、呼ばれていた。

ナシルの谷を少しはなれた、丘と野原の地方にあって、

It was colled Children's Home, stood in the land bitween hills and fields.

ケンサクーシュ・インノーウェ。(仮題)

---

ケンサクーシュ・インノーウェ。  
(仮題)

(カ・エファン=ソンエル)

---

(カ・エファン=ソンエル)

麗天地創造的曜日。2013年6月16日

---

[麗天地創造的曜日。](#)

2013年6月16日 [リステラス星圏史略](#) (創作) [コメント \(1\)](#)

初めに光があった。

光は熱を産んだ。

熱は風を起こした。

風は動きを造り

動きは距離を造った。

これが天地（あめつち）の始まりである。

光曜日

炎曜日

風曜日

空曜日

道曜日

(帝国統一)

---

( 帝 国 統 一 )

「労せずして一網打尽にしてやるわw」 (2017年2月15日)

---

## [めも](#)

2017年2月15日 [リステラス星圏史略 \(創作\) コメント \(1\)](#)

「触れを出せ」

「はっ！ 今後一切の汚職不正恐喝の類は赦さんと...」

「いやいや...、まだまだ甘いなオマエw」

『新総督は前総督の息のかかった者で、一月後に盛大な交代就任式の宴を開くから、いかにも前総督好みの不正なオタカラや出し物を持つ闇商人どもには、ソッコー州都に参集せよ』

という裏側の触れを出せ。

...ノコノコ集まって来た所を、労せずして一網打尽にしてやるわw」

## [編集する](#)

## コメント



[霧木里守](#) [≡](#) [畑楽希有 \(はたら句きあり\)](#)

2017年2月15日19:21

...いや、さっき、唐突にね...? (^\_^ ;)

一瞬にして、脳内を走馬燈のように、白昼夢?が...w

文化風俗は古代中国風だったなあ...

リスタルラーナ史にでも、放りこんでおくかな...w



<http://85358.diarynote.jp/201803242008282681/>

『クス・アリカの悲劇』 (荒筋めも)

2018年3月24日 [リステラス星圏史略](#) (創作)

参照⇒<http://85358.diarynote.jp/201803240656074271/>

カコウの大陸。

統王朝の再興を掲げ、ク・サリカの王、起つ。

その性、苛烈。容赦なく敵国民女子に至るまですべて殲滅す。

傍らに將軍ネイディアあり。クス・アルヴァ藩王。智臣にして無敗なり。

長の歳月の後、ついに大陸全土の併呑なる。

将ネイディア、動乱終結の後、過労にて倒れ、長く床にあり。

統王、出仕の命に従わぬに業をにやし、一閃のもと病臣を斬り捨てる。

クス・アルヴァ藩民、なべて復讐に立つ。

ここに和平崩れ、再び戦乱の世となりたり。

=====

...そんでー！ 狼さんの大馬鹿さんが――ー！

「いまわのきわ」の「お願い」なんだから...





黄昏彫刻  
～超えられない壁の物語～

エブリスタ主催「マンガボックス原作賞」  
(2017年7月31日〆切)  
に応募したやつが、こっちに入ってます。



[http://estar.jp/\\_novel\\_view?w=24706833](http://estar.jp/_novel_view?w=24706833)

戻らぬ者の物語

『天文台の物語』（仮）（2017年7月21日）

---

<http://85358.diarynote.jp/201707212107028780/>

[『天文台の物語』（仮）](#)

2017年7月21日 [リステラス星圏史略（創作）](#)

<https://www.youtube.com/watch?v=BRmKQGC3JBE>

アイルランドのケルトはバグパイプ、フルート、ハープやバイオリンとのインストゥルメンタル音楽をリラックス

投稿用～こっちに入れておいた～☆彡

↓

[http://estar.jp/\\_novel\\_view?w=24708415](http://estar.jp/_novel_view?w=24708415)

『天文台の物語』（仮）

=====

帝国北方丘陵地帯のはずれ、小高い単峰の南麓斜面にその天文台は位置した。

正式名称は帝立天文気象地象観測記録予測予報予防対策対応立案実動庁北西領土総括局...とたいそう長たらしかったので、関係者は単に最初期時代のまま「天文台」と呼んでいたが、広大な山麓敷地内に建物群は幾つかに分散し、山頂部分は「山ごもり」と称されて一度出勤したら半月は下山できない不便さの夜間天文観測と「居候」と呼ばれる他省からの派遣者たちの動植物観察などを中心任務とする一方、「下界」と呼ばれる中心部分は気象予報や水害対策のための河川工事などで密接に人間界と関わり、定刻官僚という名の中級公務員である勤務者たちは徒歩15分ほどの独身寮から通うか、車で5分ほどのふもとの村に家庭を構えるかのどちらかなのであった。

その「下界」の職員らは各部署共同の大食堂で食事を摂ったが、そこの料理人たちは近在の農家の「第一線の力仕事からは引退した」と称する初老の集団によって占められていて...

野菜は新鮮だし量も多いし味付けも（田舎風だが）たいそう美味いと、たまさか中央から出張してくるたびに、上級職員たちはうらやましがるのであった。

その食堂で、防災土木課の若手のハルと気象情報通信課速記録係長のタナは、ひよんなことで知り合った。

夏の定食には必ずといっていいほど付いて来るプチトマトの歯ごたえがタナは苦手、ハルは大好き、香りの強い新鮮なブロッコリーがタナは大好きでハルは苦手で...

たまたま隣に座った時におとなげなくもついうっかり交換こなんかしてしまって以来、昼休みの時間さえ合えば必ず一緒に食事をとることが習慣になってしまった。

喋ってみるとハルは話題の豊富な人懐こい愉快的な相手だったし、どちらかと言えば物静かで聞き上手なタナの気象地象に関する博学ぶりはハルをすっかり魅了した。

すっかり気が合って話し始めれば時間はいくらあっても飽きるということがなく。

二人とも独身寮だったので、気がつけば出勤と帰宅も何とはなしに待ち合わせるようになり、休日もよく一緒に出掛けた。

時折りの天変地異に救急対応にと職場の騒ぎは交えながらも、個人的には平穏で楽しい数年の後...

ハルの実家の父が倒れた。跡を継ぐはずだった妹婿が、色々あって、離れていった。

...退職して、故郷に戻ると、半泣き笑いでハルが挨拶して去った後...

二度と会えないのかと、タナは愕然とする。

たんなる年の離れた気の合う友人。同士のままでも、よかった。

毎日、少なくとも自分の定年退職までは...必ず会えさえするのであれば...

幼なじみと結婚して、子どもも出来たと、ハルからは時々の報告がくる。

タナは無難に職場の近況などを報せ...

何年も、何年も、もう、会う機会すらなく...

やがてタナは定年退職し、郷里に戻った。

その村の春の桜一面はたいそう見事だと、何度もハルに自慢をしたことがあった。

はがきを書いた...

「良かったら、仕事の休みがとれたら、泊りがけで、花見に来ませんか...」と...

すっかり中年になっていたタナは喜んで飛んで来た。

家族はおいて、ひとりで車で、何時間もかけて、一心に走ってやってきた...

桜を愛でて、酒を呑んで、昔のように、昼休みのように、一晩中、愉しく語り明かして...

翌日の午後、タナはまた車で半日かけて、仕事と家庭に戻る...

そんな年が十数年も続いた。

ところが。

ある年の冬の大嵐が、田舎の村の唯一のとりえの全ての桜をだいなしにして去った。

タナは絶望した。

もう、これからは、ハルを呼べない...

...いつもの季節になっても過ぎて、花見に来いとも来るなとも一報もよこさぬタナに不安を感じて、ハルが約束なしに村を尋ねた時...

すでに、タナの家は売却されていた。

...死んだと、いう...

ハルが知らぬうちに、桜の木々が折れたことに絶望して悲しんで、みるみるうちに体が弱って、周りの者が気づいて入院させた時には、すでに手遅れで...

案内された小さな墓のまえで哭きじゃくるハルは、ついに知らずに終わった。

...タナの感情が、友愛ではなく恋であった。ということ...

(借景資料集)

---

<http://85358.diarynote.jp/201708042150535241/>

[\(!本日終了!\)](#) [\(没原稿\)](#) & [その他の補遺](#)。

2017年8月4日 [リステラス星圏史略](#) [\(創作\)](#) [コメント\(1\)](#)



<https://hailstorm.c.yimg.jp/iwiz-weather/lightning/1501853400/1011-0010-101000-201708042230.gif?t=1501854037>

( 2 2 : 2 0 ~ 2 2 : 3 0 )

=====

別件。(^^;) )

特務機関NERV @UN\_NERV・4時間4時間前

(続き)

和田台長は秋田に赴任する前は盛岡地方気象台の台長を務め、去年8月に岩手県岩泉町のグループホームが浸水し9人が死亡した台風10号の反省から、着任後は秋田県内すべての市町村長と会って携帯電話の番号を交換し、ホットラインを築いていたということです。

↑

特務機関NERV @UN\_NERV・4時間4時間前



【秋田大雨 気象台長が首長に直接電話 危機感伝える】

先月、記録的な大雨でおよそ2000棟の住宅が被害を受けたものの死者やけが人が出なかった秋田県では、地元の気象台のトップが、市長や町長に直接電話をかけて危機感を伝え、これが迅速な避難の呼びかけにつながっていたことがわかりました。

特務機関NERV @UN\_NERV · 4時間4時間前

秋田大雨 気象台長が首長に直接電話 危機感伝え迅速避難に

<https://t.co/072afZwHns>

! G J ! ( ^ ◇ ^ ) !

(繁栄と崩壊)

(小さな部屋で、主様の "フネ" ・奥殿の他の場所と同じようにつるつるしたもので床も壁もできているの。)

---

わたしが "神殿" に巫女としてお上がりいたしましてから両手指分の太陽さまが昇りました。今日、不思議なものを見つけてしまったの。

お許しのあった時でなければ立ち入る事ならじ、と主様より申し付けられている奥殿に御用を申しつかって初めて参らせていただきました。

小さな部屋で、主様の "フネ" ・奥殿の他の場所と同じようにつるつるしたもので床も壁もできているの。

奥殿は地面から離れてあるのに四角い浅い井戸が切ってあって、井戸というより岩場の泉のように壁の中途の光る竹筒のようなものから暖かい水が流れだしていました。

その部屋にね、小さな窓が切ってあったの。

わたしは初め気づかなかったのだけれど目の横で何かが動くので、ひ

(実はほとんど同族であるという“ことの次第”)

[『 清峰 鋭 \(きよみねえい/リレキセス・ジュンナル\) の物語 4 』 \(@1995.04.08~\)](#)

2006年11月30日 [連載 \(2周目・最終戦争伝説\) コメント \(1\)](#)

鋭ほか『朝日ヶ森』およびアロウ系の数名が、お得意の隠密行動で情報を収集した結果、遺伝子や文化・文明・言語のパターンに、かなりというよりは必然以上の一致点を発見しまくった結果——(実はほとんど同族であるという“ことの次第”を明確に理解していたのは、もちろん鋭一人で、事態をかなり面白がっていた★)、——それなら事態を荒立てるより秘密裡にさりげなく“移民”してしまえばー?という結論になり、ペーパーカンパニーならぬペーパー研究所を設立し、地球系移民の人種的特徴を「遺伝子操作による“実験体”」と言い繕って漸次2万人ほどをリスタルラーナ世界に送り込んだ。

この時、無用な摩擦を避ける為に、一般市民に対しては本人たちにも記憶操作を施して、それが事実だと思いこませたので、その後の数百年を経て正式に地球文明圏との国交樹立を巡る問題が政治上の重要な争点となった頃には、実は自分の曾祖父(ひいじいさん)は地球人で……なんて事を知っている人間は一人もいなかった。

が、血筋はやっぱり争えないのか、美天地人(リスタルラーノ)にしては喧嘩っぱやいと言うか感情的で、理屈ぬきの勘と行動力を備えている親テラズ派の連中は、たいがい地球系の遺伝子を多めに持っている……★

居所と名前と経歴を点々と変えつつ、地球系移民のその後の生活をさりげなくフォローしてやりつつサンタクローズな気分ではあるがけっこう孤独をかこっていた清峰 鋭 は、地球圏との国交樹立を裏から密かに支援はしていたが、原則として政治向きの事には手も顔も出さないように気をつけていた。

が、サキ・ランという有名人が“芸術系の交換留学生”として活躍しはじめ、地球圏の最終戦争伝説についての再現映画を撮影する……とかいう企画を耳にするに及んで自制心を蹴り飛ばし、一さずがに“正体”を明かしたのはサキにだけだったが、——古史古伝に詳しいという触れ込み(事実ではある★)で、映画撮影のスタッフにちゃっかり割り込んだ。

そのついでに、サキたちの副業?やら何やらにも巻き込まれ、政治的暗殺未遂事件(ソレル女史が殺されかけた騒ぎ)だの、麻薬密輸団取締事件(『黄金指輪の物語』)だの、両文明圏における気波技術者(エスパッション)の社会的立場の確立運動などにも、期せずして一役買って

いる。

対アンガヴァス戦役と続くジースト革命、国交の樹立と安定を経て、エスパッション・スクールの創立後、以後の運営には心配なしと見たサキ及びレイが、リステラス特務部隊員として深宇宙探査の船に乗り込んだ時には、コネを使ってちゃっかり同行している。

対《邪魔》（ジャマー）戦でサキやレイなど数名が落命した際に一緒に行方不明になり「生存は絶望」と記録には残されているが、実はこの時、サキら気派技術者（エスパッションニスト）とのみ接触をとり、共に作戦行動をとっていた“遍在文明”（オーヴァー・ビーイング）からの“ガス漏れ修理員”（もしくは水道管破損箇所点検人とか……そういうニュアンス★）たちに拾ってもらって、上級文明圏に遊びに行ったのだった。

そこで多脳人類だの無移動存在だの無形遍在だのという、よく判らない連中とお友達になりかけるが、やっぱり途中で退屈？してしまい「次元落ち」して、タコだのアメーバ型だのいわゆる“普通の異星人”文明をあっちこっち漫遊？した後、結局ホームシックになって、その当時“リズヴェッサ（遺伝子管理機構）体制”を名乗って破竹の勢いしていたリステラス星圏に帰還した。

この頃になると、数万年・数十万年を旅に生きているヘンな存在も自分だけではないと判り、期せずして幾度も再会してしまう顔見知り？や、転生しても覚えていてくれる友人？も増えて開き直っているのもはや通常の“人類”とは言い難いメンタリティ……に、なりそうでなっていないのが、この人の不思議なトコロ。

幾つかの短い旅を経て、未開惑星の神聖王として奉り上げられたりしていたらしいが、かつて皇女マーライシャであった転生体の少女の養育を任された経験（誰にかと言えば、多分またぞろ、戦士・黒百合のおねーさまだろう……この人もほんとに長生き★）を経て、自らの旅の終わりが近づきつつある事を知る。

永遠不変のように思われていたリズヴェッサ体制が、一部指導者層の辺境星域への理由なき？亡命という裏切り行為によって内部から崩壊した後、銀河系の混迷と衰退のながい黄昏の時代の中で、かつて《地球》と呼ばれていた小さな惑星が、素朴な農業王国として再建され、そしてまたその支配者や所有企業が転々と変わり、戦乱と政争に巻き込まれ、恒星の寿命が短化されて不毛な岩漠惑星となった。

恒星の爆発と超新星化によって惑星群が消滅するまでのカウントダウンが始められた頃、すでに通常的人类ならば生存不可能な状態と化している地表に個人用宇宙艇で降り立った清峰 鋭は、そこでやはり地球と命運を共にするべく……と言うよりは、彼ならおそらくそうするだろうので、そこで待っていれば同行できるだろう……という推測と期待に基づいて降下してきた、かつて

の妻・律子の転生記憶をもつ少女と再会を果たした。

その地表に停泊させた宇宙艇の中での静かで穏やかな共同生活の間、清峰 鋭 と、かつて律子であり幾度かの転生記憶を持つ少女は、互いの記憶や知識を突き合わせつつ、知る限りの喧々と史実とをたわむれに書き留め、書き残すことにした。超新星の爆発に吞まれてなお、その記録が誰かの手に渡る事がもしあるならば、それもまた宇宙の“波”の一つであろうという事で……

いよいよの爆発が予告されたその日、惑星の死に立ち会うために訪れた地球にゆかりのある他の長寿人たちとは通信で別れを交わし、結局、彼らからの要望に従って書き残した史料を譲り渡した後に、二人は泰然として静かな眠りに就いた。

小型宇宙艇に備えつけの普及型生命維持カプセルが、超新星の爆発に吞まれた惑星の上において、その目的とする機能を果たし得るかは、はなはだ疑問である。そうではあるが、なおかつ、この特殊な歴史を歩んだ惑星の上で育まれた様々な想念や、その結晶化し特化した存在である精霊たちの残党が、二人の肉体（うつわ）をそのままの形で護ったのではないかと……と、書き残された史料を解読・研究しようとする愛読者の中からは、一種の信仰とも呼べる仮説（伝説？）が生まれ、宝探しにも似た感覚でカプセルを探索する者がその後しばらくの時代にわたって散発していた。

また、人間の魂（記憶？）の中に転生・再生するものもあるという実証に基づき、彼らのその後の生命形態を予測・搜索する懸賞金のプロジェクトなども一部マニアックの間で続けられていた。

……そして星々はめぐり、歴史は流転する……

（うあー、なんつー長い話だっ★）

## コメント



りす

2006年12月1日23:00

.....はい、お疲れサマでした.....☆

ていうか、「わたしが」疲れました.....☆ (^◇^;)”

実を言えば、「地球最終戦争伝説」の、特にその内の「俺と好」（旧題）には、既発表（※同人サークル主催他時代の、ルーズリーフ原稿用紙の直筆（手書き）回覧形式で※）原稿が、ファイル数冊（いわゆる「エンタメ系」の文庫換算で、少なくとも6巻分以上？）の没原稿が、

現存しているのですが.....A^-^ ; ) ”

さすがにソレ、ブログ形式でアップするのって.....どーよ？

ていうか打つ（入力する）のも、根性が要り過ぎるので.....

またの機会（あるのか？）に、譲りますね..... (^◇^;)>”

ってことで、ひとまず「ハルマゲドン編」終了!!

12月1日付けからは、新章（地球文明復活編）突入です♪

!(^^)!





(参照したければ資料)



<http://85358.diarynote.jp/201702230955016825/>

[\(借景BGM集\) 『美麗天地』～『ナシルの谷』～『火涙沢の物語』～。](#)

疎開先、確保。o (^ w ^ ; ) o'''''''' 2011年5月20

---

[疎開先、確保。o \(^ w ^ ; \) o''''''''](#)

2011年5月20日 [連載](#)

ええ。

「創作メモ」ですとも★

(ーー；)

<http://elitwindmw.diarynote.jp/201105181453135958>

(※コメント欄)

コメント

Missing in the field

2011年5月18日15:05

【速報】キター(°▽°)ー!

地球と同じ生活ができる星をわずか20光年先に発見 地球はオゾン

アルファルファモザイク

<http://blog.m.livedoor.jp/amosaic/c.cgi?id=3309620>

コメントから...

光速の90%の速度を常に保ってこの星を目指したと仮定した場合

宇宙船の時間の進みは静止時間の約0.4359倍となるため、地球では約22.22年かかって  
も宇宙船の中では約9.69年しか経過しない

もっと速く、光速の99%の速度なら静止時間の約0.141倍だから地球では約20年でも宇  
宙船の中では約2.82年しか経たない

解釈は不能?(笑)

人類移住も一世紀も経てば検討段階から実行される時代になっているでしょうね。

増えずた人類移住を真剣に考える。

それまでに地球上の環境も激変している可能性が高い!

何時までもドンパチと紛争や戦争をやったいる場合では無いはずです。

戦争による環境破壊は半端なモノでは無い。

探査機も到達するには数十年係るレベルの現在では夢現の如しか...

畑楽希有=はたら（く）きあり=桐木りす

2011年5月19日5:42

まじですか！（^^）！

「避難」してもいい.....???

Missing in the field

2011年5月19日16:13

避難？(笑)

移住ですね...

畑楽希有=はたら（く）きあり=桐木りす

2011年5月20日22:34

疎開。（^^；）

>グリーゼ581d

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B0%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%BC581d>

参照：

<http://76519.diarynote.jp/200605032354160000/>

（^^+）はやく、物語作家に、なりた〜い.....☆☆☆☆

（--；）☆



[りすmemo。2012年5月15日 リステラス星圏史略 \(創作\) コメント \(2\)](#)



.....あ〜☆ あったあった☆

「夢で視た」わ.....これw

「実在」してたのかあ.....w w w w w

<http://topics.jp.msn.com/life/environment/article.aspx?articleid=1034267>

2012年5月14日 19:12 (ナショナルジオグラフィック)

太陽系で新たな惑星を発見？

冥王星のさらに外側を周回する小さな氷の天体（想像図）。Illustration courtesy G. Bacon, STScI/NASA (ナショナルジオグラフィック)

太陽系の暗い外縁部に、未知の惑星が存在している可能性が明らかになった。外縁天体の奇妙な軌道が、未知の惑星の存在を示唆しているという。

リオデジャネイロにあるブラジル国立天文台（National Observatory of Brazil）の天文学者ロドニー・ゴメス（Rodney Gomes）氏は、「望遠鏡など視覚的には遠過ぎる距離だ。“カイパーベルト天体（KBO）”の軌道の乱れから導き出す手法を採用した」と話す。

KBOは海王星軌道より外側でリング状に密集した小さな氷の天体の総称で、いくつかの準惑星も含まれる。

例えば、かつて太陽系9番目の惑星と考えられていた準惑星、冥王星は最大級のKBOで、直径は約2300キロ。ほかにも直径数百キロの天体が10以上あり、毎年新たに発見されている。そのほとんどが、太陽から60億～75億キロの範囲に散らばっている。

ゴメス氏の計算によると、外縁天体「セドナ」を含む6個のKBOが、既存の太陽系モデルでは説明できない奇妙な軌道を描いている。

その理由は複数考えられるが、「惑星の質量を持つ太陽の伴星」と考えれば最も簡単に説明できるだろう」とゴメス氏は語る。つまり、太陽から非常に遠い軌道を周回しながら、KBOに重力的な影響を及ぼすだけの質量を持つ惑星という説だ。

#### ◆謎の惑星は捕らえられた“はみ出し者”？

ゴメス氏はまず、92のKBOが描く軌道を分析した。さらに、新たな惑星が存在する場合としない場合、これらの天体の軌道がどのように乱されるかをコンピューターモデルで再現。分析結果をコンピューターモデルと比較した。

惑星が存在しないと仮定した場合、6つの天体が描く極端に細長い軌道は再現できないとゴメス氏は結論付けている。惑星の正確な大きさはわからないが、さまざまな可能性が考えられると同氏は述べる。

海王星（地球の約4倍）ほどの大きさで、2250億キロ（太陽・地球間の約1500倍）の軌道を周回する惑星であれば、6つの天体の軌道を乱すことができるという。

また、地球の約半分しかない火星サイズでも、軌道が極端に細長く、太陽から80億キロまで近づくことがあれば同じ現象が発生する。

謎の天体は元の恒星系からはじき出され、太陽の重力によって捕らえられた「自由浮遊惑星」ではないかとゴメス氏は推測している。

あるいは、太陽に近い場所で形成され、ほかの惑星との重力的な相互作用によって外縁部まで押し出された可能性もある。

しかし、このような惑星を実際に見つけ出すのは至難の業だ。まず、かなり暗い惑星だろう。しかも、ゴメス氏のシミュレーションでは、存在が予想される場所の手掛かりさえ得られていない。「どこにあってもおかしくない」と同氏は話している。

#### ◆動かぬ証拠がない

ほかの天文学者も興味を示しているようだ。しかし、より多くの証拠が提示されない限り、冥王星の後釜が存在するという説を受け入れることはできないと口をそろえる。

アメリカ、メリーランド大学の天文学者ダグラス・ハミルトン氏は、ゴメス氏の発見は決定的と言える段階ではないと考えている。「彼が提示した研究結果はわずかに可能性を高めただけだ。動かぬ証拠は見つかっていない」。

研究結果は5月8日、オレゴン州のホテル、ティンバーライン・ロッジ（Timberline Lodge）で開かれたアメリカ天文学会の会合で発表された。

著作権はブロードメディア株式会社及びナショナル ジオグラフィック協会に属します。

© 2012 Broadmedia Corporation/National Geographic. All rights reserved.

[この配信会社の記事一覧へ](#)

#### 関連記事

外縁天体セドナ、予想より小さかった カイパーベルトで新たな準惑星を発見か 冥王星とその衛星 (写真集：太陽系 4枚目) 浮遊惑星の数、恒星の10万倍？ 冥王星はやはり惑星？ 議論が再燃

おまけw

<http://topics.jp.msn.com/life/environment/article.aspx?articleid=1034093>

『風の谷のナウシカ』。腐海のモデルがウクライナにあった！

あの“風の谷”がいったいどこをモデルにしているのか、考えてみたことはないだろうか

。

投稿者: SUUMOジャーナル編集部 2012/05/11 19:22

シェアする 10

0

本日、日本テレビ系列で映画『風の谷のナウシカ』が放映される。『風の谷のナウシカ』は、スタジオジブリの宮崎駿監督が手掛けた劇場版長編アニメ。雑誌『アニメージュ』に連載されていた宮崎監督自身の同名漫画が原作となっている作品だ。

金曜ロードショーではすでに何度も何度も放映されている『風の谷のナウシカ』。映画を観た回数が2桁に達するような人も少なくないのではないだろうか。

『風の谷のナウシカ』が劇場公開されたのは1984年のこと。それから30年近くたったいまでも、映画として十分楽しめるのは、作品に含まれたテーマの普遍性によるところが大きい。人間と自然の関わり、終わりなき権力闘争、行きすぎた文明の末路など、内容は奥が深く、さまざまに読み解くことができる。

いまもって語るに値する作品。それこそが繰り返し『風の谷のナウシカ』が楽しまれている秘密だろう。

ところで、あの“風の谷”がいったいどこをモデルにしているのか、考えてみたことはないだろうか。というのも、宮崎駿は、アニメーションを制作する際に、その舞台をしっかりと現地調査することで知られる作家なのだ。

テレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』のウィキペディアによると、「この作品のために、スタッフはテレビアニメ史上初といわれる海外現地調査（ロケーション・ハンティング）を約3週間行った。調査には、高畑勲、宮崎駿、小田部羊一らが参加しており、その成果はリアリティの高い作品作りに生かされた」のだそう。

当然、ナウシカの舞台背景にもどこかモデルがあると考えるのが自然だ。ネット上で検索してみると、風の谷のモデルとして、パキスタンのフンザが浮かび上がってくる。しかし、ウィキペディアでの記述では、「宮崎は風の谷のイメージを“中央アジアの乾燥地帯なんです”と発言」しているものの、明確な言及はない。



ウィキペディアでフンザの項目を調べてみても、「日本人旅行者の間では“風の谷のナウシカ”の『風の谷』のモデルとなったと言われてきた。スタジオジブリ公式ホームページ及び各種アニメ関係書籍ではその旨が示されたことはなく、根拠は不明」なのだとか。

ただ、同じくウィキペディアによると腐海のモデルは「ウクライナ、クリミア半島のシュワージュとしている。」という記述も…。

最近はアニメにつきものになった聖地巡礼。ナウシカを観た後は、クリミア半島にでも飛んでみる？

写真はパキスタンのフンザ (Photo by bongo vongo)

火星にあった水は、凍土層に閉じ込められたり地殻に含まれたりして、現在も大量に地下に存在する可能性が高いとの。(2014年12月25)

---

<http://85358.diarynote.jp/201412250027279546/>

コメント



[霧木里守≡畑楽希有 \(はたら句きあり\)](#)

2014年12月25日0:46

毎日新聞・デジタル編集部 @mainichijpedit · 12月23日

火星にあった水は、凍土層に閉じ込められたり地殻に含まれたりして、現在も大量に地下に存在する可能性が高いとの研究成果を、東京工業大と米航空宇宙局のチームが発表しました

<http://goo.gl/QoLifS>

ん? (@@;) リスタルラーナって、火星のことだったのか...???



[霧木里守≡畑楽希有 \(はたら句きあり\)](#)

2014年12月25日0:49

殺戮悪刀スリータイムバッドブレード @bad\_blade · 12月21日

軌道エレベーターを建設した結果地球のバランスが崩れてポールシフトが起こりそれに伴うなんやかんやで軌道エレベーターも倒壊し地球上の(ポールシフト後の)北極と南極を含む八ヶ所に軌道エレベーターを再建することになるのには300年の時を要したみたいな話ください

リステラス星圏史略  
古資料ファイル  
6-0  
《麗天地》  
(リスタルラーナ前史)

<http://p.booklog.jp/book/112661>

著者：霧樹里守 is 土岐真扉

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/masatotoki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/112661>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト